

さらなる 安全・安心を求めて

ししまやほんぼ
株式会社 四十萬谷本舗



企業理念

- 1.ふるさとの風土を大切にし、食を通じて健康で豊かな暮らしに貢献する。
- 2.感謝の心で、生き甲斐働き甲斐のある職場をつくる。

農業に対する思い

加賀野菜など地元の伝統野菜を復興させ伝統の食文化を守ることで地域に貢献するとともに、有機農産物の生産により食の安全・安心を提供する。

きっかけから実際の営農開始まで

当社はかぶら寿し・大根寿し・野菜味噌漬などの伝統食のメーカーであり、加賀野菜・能登野菜・伝統野菜など地元の野菜の復興に尽力し、漬物だけでなく野菜ジェラートなどの新しい商品づくりに取り組んでいます。消費者の安全安心・地産地消のニーズが大きな高まりを見せている一方、石川の契約農家は担い手不足と高齢化が進み、ここ数年で耕作を放棄せざるを得ないところが多くあります。特に中山間地での耕作が困難さを増し、農家の減少が懸念されています。これらの課題に対応するため、メーカー自身が農業参入に乗り出し、伝統食産業の基盤である地元の農産物の生産を維持拡大する必要があると思い参入しました。

(財)石川県産業創出支援機構のいしかわ産業化資源活用推進ファンド事業、並びに金沢市の中山間地域新規農業参入支援モデル事業として行政の支援を受け、金沢市鷺原の耕作遊休地を借入、生い茂るススキや葛などを刈り、重機で基盤整備を行い、牛ふん・鶏ふん・油かすとといった有機肥料で土壌改良を行いました。農業技術については、県のアグリ塾(現・いしかわ耕稼塾)の受講を通して習得しています。

参入してから現在まで

現在は32aを耕作、青蕪、胡瓜、茄子、片瓜などを生産。栽培1年目ということで、農事部スタッフも試行錯誤しながら、地元の方々や当社の契約農家の方々そして農業経験のある社員・OBたちに教わりながらの農作業。有機・無農薬での栽培のため、雑草や害虫との悪戦苦闘。その一方、ミツバチ・テントウムシなどの益虫も多い環境に助けられました。さらに、長い梅雨や、例年より量も多く期間も長い降雪といった厳しい天候にもさらされましたが、壊滅的な被害を受けることなく良い野菜を数多く収穫することができました。

生産物を原材料に使用して加工、加賀太胡瓜醤油漬、へた紫茄子醤油漬、ミニ胡瓜、ゴーヤ酢漬、かぶら寿し、かた瓜の粕漬(製品途中)を商品化し、当社本店並びに各支店において販売しました。お客様に対し、自社農園で栽培管理したことにより、安全・安心を自信を持って提供できました。次年度は約1haへの規模拡大を行う予定です。主力品目である青蕪、胡瓜の増産を目指すとともに、すでに生産を始めているへた紫茄子・太胡瓜に加えて、他の加賀野菜や地元の伝統野菜といった品目を増やしていきたいと考えています。

■ 企業のプロフィール（現況）

代表取締役	四十萬谷 正久
設立年月	昭和46年6月
所在地	金沢市弥生
資本金	3,000万円
事業内容	醤油漬物製造販売
従業員数	48人

■ 農業参入状況

参入年月	平成21年1月
参入場所	金沢市鴛原地区
借入農地面積	32a
主な作物	青蕪、茄子、胡瓜、太胡瓜、片瓜など
担当部署名	農事部
業務執行役員	権野 晃
業務執行役員数	1人
農業従事者数	3人

■ 参入を目指す企業へアドバイス

食品製造販売業である当社は幸い、自社という販路が初めからありましたが、一般に異分野からの農業参入は、収穫物の販路の確保が大変重要になってきます。

つくる→売るではなく、売り先を決める→そこに合わせたものを生産するという逆転の発想が成功のカギになると思います。

将来はこんな農業をめざします！

農事部の各スタッフが品目ごとのプロとなり、体験型農園も含め安全・安心の商品づくりを提供していきたいです。

Comment

農業分野の担当者から一言



1年目ゆえ、作業が効率的でなかったり判断に迷ったりで、後手後手となることも多く、また有機・無農薬栽培への挑戦では施肥や病害虫防除の難しさを痛感しました。その中でもある程度の成果が得られたことは大きいと思います。来年度は農地も品目も増えるので、輪作の事なども含めて作付計画をしっかり立て、初年度の経験を糧に、先のことまで見越した営農をしていきたいです。

高農林総合事務所長より一言



石川県の老舗漬物屋さんで、古くから地元産野菜や加賀野菜を使用するなど、石川農業の良き応援者でした。その四十萬谷さんが農業に参入されたことは大変頼もしく、また、地域の農業者と連携されることで、その地域の農業や地域そのものが活性化されると思います。